

平成 28 年度 大阪女子短期大学高等学校 学校評価（報告）

<学校評価>

1. 目指す学校像

2. 中期的目標

○学習指導

○生活指導

○進路指導

○教員研修

○その他の領域

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

3. 本年度の取り組み内容及び自己評価

<学校関係者評価>

◆近隣地区代表との意見交換

◆学校関係者評価を受けて

<アンケート報告>

◆生徒・保護者アンケート

平成 28 年度 大阪緑涼高等学校 学校評価

1. 目指す学校像

- (1) 教員、生徒が、誇りと自信を持てる学校。
 - 文武両道に努め、教員、生徒共に満足度が高められる学校を目指す。
- (2) 女子校としての存在意義が明確な学校。
 - コース制の充実を図り、生徒たちへの豊かな進路先を実現する学校を目指す。
 - 女性としての品格(所作、礼儀、マナーなど)を高め、保護者と共に、子供の成長を喜べる学校を目指す。
- (3) 近隣市民、中学校から、支持してもらえる学校。
 - 施設、設備や学校環境の整備を計画的に実施し、学習環境の充実を目指す。
 - 近隣住民との連携を図り、教員や生徒、保護者が共に協力できる学校を目指す。

2. 中期的目標

○学習指導

- (1) 基礎学力の定着
 - ・日々の授業を大切に、基礎学力の定着を図る。
- (2) 家庭学習習慣の定着
 - ・家庭学習の課題として模試を利用し、学習度合いをチェックする。

○生活指導

- (1) 思いやりと礼節、礼儀正しい生徒の育成
 - ・校門指導を行うとともに、「あいさつ運動」を推進することで、自発的に挨拶ができる生徒を育てる。
 - ・茶華道を通した礼儀教育を行うことで、礼儀正しい生徒を育てる。
 - ・遅刻防止に向けた取り組みを行うことで、社会規範を守る生徒を育てる。
- (2) 頭髪指導を通し、規律を守る心の育成
- (3) 物を大切に扱う心の教育の一環として行う、校内外の清掃活動。
- (4) いじめアンケート等を活用し、いじめをさせない・解決できる学校を目指す。
- (5) 教師個々の力量だけに頼らないポイント制の推進。

○進路指導

- (1) 進路先の確保
 - ・系列大学の受験者数を確保するとともに、その他の四年制大学進学への道も広げる。
- (2) 進路学習
 - ・懇談会を利用して、保護者・生徒の進路に対する目標を把握し、進路実現につなげる。
 - ・様々な資格を取得させ、受験での利用や社会で活躍できる素養を身につけさせる。
 - ・課外講座を利用して、学力の向上を図るとともに、大学受験の対策を行う。

○教員研修

- (1) 教員の力量を向上させるため研修会を実施
 - ・校内外の研修会に積極的に参加し、教員のスキルアップに繋げる。
 - ・3校合同(大商大校、大商大堺校)研修会を実施し、指導方法の見聞を広げる。
 - ・学内教員研修会を実施し、学内の制度や規則の改善に繋げる。
- (2) 授業スキルの向上
 - ・公開授業を行い、意見交換会等を利用して自己研鑽に努める。

○その他の領域

- (1) 学校評価の取り組み
 - ・学校評価アンケートや授業アンケートを実施することによって生徒の生の声を聞き、組織としてのスキルアップを図る。
- (2) 地域との交流
 - ・地域ボランティア活動を行うことで、近隣とのコミュニケーションを図る。
- (3) 設備環境・防災対策の強化
 - ・施設や設備環境を点検し、適宜改善・改修に努める。
 - ・計画的に緊急支援物資を購入することで、緊急時の避難所として稼働できるように努める。

[自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見]

[自己評価アンケートの結果と分析(平成 29 年 2 月実施分)]	学校評価委員会からの意見																				
<p>□学習指導</p> <p>○クラスは楽しい 肯定的意見 (H28 生徒88%, 保護者85%) (H27 生徒85%, 保護者83%) (H26 生徒85%, 保護者83%) 微量であるが、例年より肯定的意見が増えている。生徒及び保護者とも、クラスに満足していることを示しているものと考えられる。</p> <p>○授業に対する意欲 肯定的意見 (H28 生徒75%, 保護者76%) (H27 生徒73%, 保護者75%) (H26 生徒75%, 保護者65%) H27年度, H28年度とも、生徒・保護者の意見の隔たりが減った。</p> <p>○学校行事は充実している 肯定的意見 (H28 生徒85%, 保護者86%) (H27 生徒80%, 保護者87%) (H26 生徒78%, 保護者82%) 学校行事に関しては、生徒・保護者ともに高い評価をいただいている。特に生徒の満足度が、年々増加している。</p> <p>○部活動は活発である 肯定的意見 (H28 生徒75%, 保護者69%) (H27 生徒70%, 保護者70%) (H26 生徒67%, 保護者60%) 保護者の数値は昨年度と変わらないが、生徒の肯定的意見が増えてきている。</p> <p>《参考：クラブ加入率》</p>	<p><クラスは楽しい：自分のクラスに対する満足度について> クラス運営に関しては概ね満足している。少しずつでも満足度を100%に近づけるよう努力するべきである。また否定的な意見に対しては、今後も真摯に受け止める必要がある。</p> <p><授業に対する意欲・態度について> データによると、保護者は学年が進むにつれて生徒の学習意欲が少しずつ低下していると答えているが、生徒対象アンケートによると、2年生の肯定的意見が一番少ない。家での勉強強度合い等で、保護者と生徒の数値が異なっていることも考えられる。今後も、予習・復習や授業の大切さを再認識させることが必要である。</p> <p><学校行事に対する満足度> 課外学習などの学校行事は、生徒・保護者とも満足できる内容であると考えられる。しかし、2年生の満足度合いが他学年と比べ少なく、原因を突き止め、改善すべく方策を考える必要がある。</p> <p><部活動に対する満足度> 部活動に関する満足度は、学校行事等に比べ、やや低い傾向にあると言える。しかし、年々肯定的意見が増えてきている。教育方針にのっとって運動部の活性化を図ってきたことについては、徐々にではあるが成果が見られる。今後は文化部の充実も図っていく必要がある。</p>																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運動部</td> <td>43%(20%, 23%)</td> <td>18%(18%, 13%)</td> <td>13%(9%, 12%)</td> <td>22%(16%, 16%)</td> </tr> <tr> <td>文化部</td> <td>23%(38%, 27%)</td> <td>24%(23%, 30%)</td> <td>31%(26%, 23%)</td> <td>26%(29%, 27%)</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>66%(58%, 49%)</td> <td>42%(41%, 43%)</td> <td>44%(35%, 35%)</td> <td>49%(45%, 42%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>()内は (H27年度, H26年度)</p>			1年	2年	3年	総計	運動部	43%(20%, 23%)	18%(18%, 13%)	13%(9%, 12%)	22%(16%, 16%)	文化部	23%(38%, 27%)	24%(23%, 30%)	31%(26%, 23%)	26%(29%, 27%)	総計	66%(58%, 49%)	42%(41%, 43%)	44%(35%, 35%)	49%(45%, 42%)
	1年	2年	3年	総計																	
運動部	43%(20%, 23%)	18%(18%, 13%)	13%(9%, 12%)	22%(16%, 16%)																	
文化部	23%(38%, 27%)	24%(23%, 30%)	31%(26%, 23%)	26%(29%, 27%)																	
総計	66%(58%, 49%)	42%(41%, 43%)	44%(35%, 35%)	49%(45%, 42%)																	
<p>□生活指導</p> <p>○学校の雰囲気が良い 肯定的意見 (H28 生徒88%, 保護者94%) (H27 生徒84%, 保護者93%) (H26 生徒83%, 保護者94%)</p> <p>○入学してよかった 肯定的意見 (H28 生徒84%, 保護者92%) (H27 生徒84%, 保護者95%) (H26 生徒82%, 保護者94%) 学校の雰囲気に関しては、おおむね高い評価をいただいている。</p> <p>○学校の規則は妥当か 肯定的意見 (H28 生徒68%, 保護者89%) (H27 生徒63%, 保護者84%) (H26 生徒67%, 保護者83%)</p> <p>○学校の規則は守っているか 肯定的意見 (H28 生徒91%, 保護者93%) (H27 生徒89%, 保護者90%) (H26 生徒91%, 保護者93%)</p> <p>○生活指導についての納得度 肯定的意見 (H28 生徒65%, 保護者84%) (H27 生徒61%, 保護者80%) (H26 生徒65%, 保護者83%) 生活指導全般としては、一定の理解を得られているものと思われる。しかし納得していない生徒・保護者も一定数見られ、今後も理解度を上げるよう努力をする必要がある。</p>	<p><学校の雰囲気が良い・入学してよかった> 生徒の80%以上、保護者の90%以上が肯定的な意見であり、学校全般としては生徒からも保護者からも一定の評価をいただいていると思われる。ここ数年、保護者のポイントにはほぼ変わっていないが、生徒のそれは少しずつではあるが上がっている。このことに満足せず学習・進路も含めてさらに研鑽を深めていかなければならない。</p> <p><学校規則の妥当性と遵守・生活指導の納得度> 保護者の評価としては80%以上が肯定的な意見であり、おおむね生活指導に関しては理解を得られているものと思われる。また、昨年度まで生徒の納得度・保護者の納得度ともにポイントは減少傾向にあったが、今年度は、生徒・保護者ともポイントが上がっている。しかし、生徒の納得度の低さは60%台と保護者に比べ高くはなく、これは生徒の不公平感があることも推測されるので、生徒への説明をさらに丁寧にし、指導方法に関しても改善していかなければならない。</p>																				

<p>○親身になって話を聞いてくれる 肯定的意見 (H28 生徒79%, 保護者83%) (H27 生徒70%, 保護者79%) (H26 生徒74%, 保護者79%)</p> <p>○挨拶があふれる学校 肯定的意見 (H28 生徒85%, 保護者82%) (H27 生徒81%, 保護者80%) (H26 生徒79%, 保護者79%)</p> <p>長年挨拶運動に取り組んできた成果が現れていると考えられる。教員と生徒間で挨拶を通してコミュニケーションの糸口を作り、さらに各項目での達成度を上げていきたい。</p>	<p><悩みを親身になって聞いてくれる> 生徒の肯定的な意見が上がっている。教員の資質向上と、生徒に向き合うゆとりを今後も作り出さなければならない。</p> <p><挨拶があふれる学校> 80%以上が肯定的な意見である。多くの生徒が出会ったとき、挨拶ができていると言える。今後も挨拶で溢れる学校であるように、教員側から積極的に働きかけていく必要がある。また、保護者からも挨拶で溢れる学校だと思っていただいている。</p>
<p>□進路指導</p> <p>○各種資格が取れる。 肯定的意見 (H28 生徒58%, 保護者63%) (H27 生徒62%, 保護者63%) (H26 生徒61%, 保護者61%)</p> <p>英検・漢検だけでなく、数検・ワープロ検定なども受験したかったとの意見が見られた。 [取得可能な資格] 実用英語技能検定、日本漢字能力検定、日本語ワープロ検定、情報処理技能検定、文書デザイン検定、プレゼンテーション作成検定、パソコンスピード検定、茶道裏千家今日庵初級、文部科学省後援硬筆・毛筆書写検定</p> <p>○進路に必要な情報は適切に提供されている。 肯定的意見 (H28 生徒82%, 保護者84%) (H27 生徒82%, 保護者79%) (H26 生徒81%, 保護者84%)</p> <p>進路情報に関しては80%近くの肯定的な意見が得られたが、満足に至らない意見も20%近くある。進路情報に関して、今後も改善していかなければならない。</p> <p>○授業・模擬試験が進路に対応している。 肯定的意見 (H28 生徒78%, 保護者72%) (H27 生徒75%, 保護者72%) (H26 生徒78%, 保護者78%)</p>	<p><各種資格が取れる> 生徒では約40%は資格取得に不満を感じている。取得可能な資格について、周知を徹底していく必要がある(ワープロ検定は実際に取り組まれている)。また入試に関する資格や、卒業後に仕事で活用できる資格について、早期から重要性を説明していく必要がある。</p> <p><進路情報の適切な提供> 生徒・保護者ともに肯定的な意見が多い。今後も生徒・保護者ともに満足してもらえるように、幅広い進路情報の提供を行っていききたい。また進路情報に関しては、生徒の実情に寄り添った内容に改善していく必要がある。</p> <p><授業・模擬試験の対応> 今後、更なる授業の充実と受験対策を取り入れていくことで、肯定意見の増加を期待する。また希望者に対して、進路実績の情報を開示していくことも考えられる。</p>
<p>□教員研究・研修</p> <p>○本校の教員は教育熱心である。 肯定的意見 (H28 生徒82%, 保護者83%) (H27 生徒79%, 保護者81%) (H26 生徒78%, 保護者82%)</p> <p>○お子さんは授業が分かりやすいと感じている。 肯定的意見 (H28 生徒78%, 保護者73%) (H27 生徒73%, 保護者68%) (H26 生徒73%, 保護者69%)</p> <p>○校内の施設、設備はよく整備されている。 肯定的意見 (H28 生徒83%, 保護者95%) (H27 生徒84%, 保護者92%) (H26 生徒87%, 保護者95%)</p>	<p><先生は教育熱心か> 昨年と同じ数値である。生徒、保護者とも高い評価を得ていると思われる。教員団の授業姿勢や行事に取り組む姿勢が生徒にも反映されていると思われる。継続が大切である。</p> <p><授業が分かりやすい> 生徒、保護者とも昨年より5%アップした。授業の内容や工夫に改善が見られた。これに満足せず、授業研究をしていく必要がある。</p> <p><学校内の施設、設備はよく整備されている> 生徒、保護者とも高い数値で満足されていると思われる。設備面で老朽化した個所も見受けられるので、随時改善が必要である。男女共学に向けて、設備の改善、改修は計画検討中である。</p>

[自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見]

3. 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
学習指導構想	(1)基礎学力の定着	・外部模試の活用	基礎力診断テストでの学習到達ゾーンで、各学年B以上を20%以上	学習到達ゾーンB以上の生徒（5月実施分）は、9%であった。基礎の定着を図るためにも学年・教科による対策を行い、基礎学力を底上げしていく必要がある。
	(2)家庭学習習慣の定着	・進路マップの活用 ・模試に向けた学習の取り組み ・自習室の活用	生徒の自宅学習時間を増加・自習学習時間1時間以上の生徒を全体で40%以上	自宅学習時間が1時間以上であると回答した生徒は全体で17%であった。昨年度と比べ3%減少した。しかし学年ごとに見ると、3年生より2年生、2年生より1年生のように、下位の学年ほど自宅学習時間が多い傾向にあった。学年が上がっても自宅学習時間を維持できるよう、また学習時間が増加するように指導していきたい。
生活指導構想	(1)思いやりと礼節、礼儀正しい生徒の育成	・校門指導とあいさつ運動 ・茶道を通した礼儀教育 ・遅刻防止指導	毎日実施 1年生で週1回1時間実施 各クラスの年間遅刻回数100回以下	毎朝校門指導を行い、その折教員からも挨拶をするようにしている。教員からの挨拶より前に自主的に挨拶を行ったり、校内外問わず普段すれ違ったときに挨拶するなど、成果が上がってきている。 茶道を通して身についた礼儀は、全体集会の始まり・終わりに丁寧な”礼”をすることができるなど成果が上がってきている。 平成28年度、指標を達成できたクラスは13クラス中1クラスであった。今後さらに指導する必要がある。
	(2)頭髪違反生徒の指導	・頭髪指導	年6回実施	定期的に6回頭髪指導を実施するとともに、日常も継続的な指導を行った。平成28年度、違反した生徒は1名のみであった。
	(3)物を大切に扱う心の教育	・校内外の清掃活動	校外清掃年2回以上実施	天候の関係で実施は1回にとどまった。来年度は、年間行事予定を鑑みながら回数を増やす方向で検討していく。
	(4)いじめをさせない・解決できる学校	・いじめに対する人権教育 ・いじめアンケート	1回実施 年3回実施	1年次に実施した。2年次でも実施できるよう検討していく。HRの時間等を利用して、いじめアンケートを各学年で年3回実施。いじめの早期発見・早期対処に努めた。また、日常的にも学年会議の中で状態の把握に努めた。
	(5)教師個々の力量だけによらない生活指導の実践	・ポイント制	4月始業式から3月終業式まで実施	服装などの項目を設け、ポイント制による生活指導を実践している。どんな教員でも生徒に声をかけやすいなど利点が多く、無理なく継続指導を行うことができている。
進路指導構想(1)	(1)進路先の確保	・受験者数の確保 系列大学(大阪商業大、神戸芸工大、至学館大) その他の四年制大学 ・懇談会による保護者、生徒の進路に対する目標の把握	入学者数5名以上 入学者数70名以上 各種懇談会の実施回数が年2回以上	系列大学の進学者数 今年度 7名(昨年度6名) 今年度は神戸芸術工科大学、至学館大学の入学者がいなかった。今後も大学入試広報と連携し、学内での進学説明会、オープンキャンパスの参加を勧めていく。 その他の四年制大学への進学者数 今年度 65名(46.8%:昨年度38名) 大阪女子短期大学募集停止に伴い、短大と同様の学問領域を希望する生徒は他短大に進学したが、それと同時に四年制大学への進学者が増えた。今後も進路指導体制を発展させていく(入試情報を集め、進路指導室を開放し、生徒が自由に資料を閲覧できる状態にしている。また実力判定模試、進研模試を実施し、ファインシステムの利用により、生徒の実力を教員が把握するよう努力している。さらに教員対象入試説明会にも積極的に参加し、他大学との連携を強め、生徒への入試指導に当たっている)。 また看護系、栄養系、教育養護系などの理系分野に進学を希望する生徒が増加し、対策が必要である。 各学年で各種懇談会を年2回実施した。また進路変更があった場合には、追加で懇談も実施している。

進路構想 (2)	(2) 進路学習	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得による、受験への活用 	各級の合格率 20%以上	漢検対策として、朝の漢字学習プリントを作成・実施した。また定期的に漢字テストを実施し、生徒の習熟度を確認した。 2級：受験者 14名 合格者 2名 (合格率 14%) 準2級：受験者 110名 合格者 15名 (合格率 14%) 3級：受験者 268名 合格者 39名 (合格率 15%)
		<ul style="list-style-type: none"> 課外講座を活用した受験対策の実施 	各級の合格率 20%以上 有料セミナー 登録者 100名	英検対策として、有料セミナーを取り入れ、面接指導を実施することで、英検対策や受験対策に活かしている。 2級：受験者 10名 合格者 0名 (合格率 0%) 準2級：受験者 56名 合格者 12名 (合格率 21%) 3級：受験者 98名 合格者 31名 (合格率 32%) 漢検2級の合格者が出たが英検2級の合格者は出なかった。進学意欲を高めるためにも合格に向け、資格取得に対する意欲を向上させていく必要がある。
進路構想 (2)	(3) コース制の実施	<ul style="list-style-type: none"> 各コースの単年度目標に沿った学習活動の実施 [特編コース] 課外セミナー実施による基礎学力の定着 [短大コース] 高短連携授業の実施 [進学コース] 受験に向けた各種資格の取得 [理系・看護コース] 看護医療系ガイダンスの充実と受験対策 	勉強クラブ登録者数 80名 希望者に実施 コース内容の充実	「勉強クラブ」は放課後に生徒が自習できるように、学校で教員を配置し、勉強の環境を整えたクラブである。登録者数は今年度 27名となった。1人でも多くなるように、今後も啓発を行っていく。 希望者には複数回の実施を行い、丁寧な指導をすることができた。 ・特編コースでは、授業だけでなく課外セミナーなども活用して学習習慣の定着や、学力の底上げができるように指導した。 ・短大進学の際に活用できる分野（保育・ファッション・製菓・栄養・コンピュータスキル）の学習指導を行った。 ・推薦入試に活用できる資格取得を促した。推薦入試に活用するだけでなく、卒業後にも活かすことができる資格取得を促した。 ・看護医療系ガイダンスおよび看護模試を実施した。また大阪府の看護体験にも参加した。
教員研修構想	(1) 教員の力量を向上させるため研修会を実施	<ul style="list-style-type: none"> 若手・中堅教員対象研修会 校内教員研修会の実施 	適宜実施 年 1 回実施	谷岡学園本部主催で中堅教員の果たす役割や組織運営などの一端を理解するための研修会を実施した。外部講師による講演、テーマ毎の分散会、交流会を実施し、自己研鑽に努めた。 今年度は短大の学生募集停止があり、その対応に追われた。学校立て直しのための将来構想委員会を4グループに分け構想を検討した。内容の整理に時間を要し、若手中堅教員への研修は行えなかったが、学校経営や運営の一端を考える良い機会となった。 来年度以降も男女共学に向けて様々なコース制充実に向けて、論議を深める必要がある。
	(2) 授業スキルの向上	<ul style="list-style-type: none"> 3校合同(大商大校, 大商大堺校)の研修会の実施 各教員の公開授業 	年 1 回以上実施 2 学期に 2 週間に亘り、公開授業を実施	外部講師の講演など内容の充実と教員間の親睦が図れるよう3校間で輪番開催している。今年度は7月に『虐待・いじめ問題の理解と援助』についての講演が行われ、個々のスキルアップの一助となった。分散会を実施し、他校の取り組みや授業の工夫などの情報交換が行われた。 各教員が公開授業を実施し、他教員の授業を見学する形式で毎年継続実施している。見学後に相互意見を交え、授業研究や授業内容の点検をし、自己研鑽に役立っている。
その他の領域	(1) 学校評価の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケート 授業アンケート 	年 1 回実施 年 2 回実施	保護者・生徒に対し複数項目に亘りアンケートを実施した。また、外部者(自治会長や区会長など)との外部評価会を設定し意見交換をしている。 各教員には年 2 回授業に関するアンケートを実施。各自で結果を集約し、レポートを提出して研鑽している。
	(2) 地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> 地域ボランティア活動 	年複数回実施	年 1 回、サブカルチャー研究部が自主的にプラレール試走会を実施している。200組以上の保護者と子供たちが参加。子供たちや保護者への対応や言葉遣いなど生徒たちが学ぶ部分が多くあり、相互に役立っている。 陸上競技部が近隣の子供クラブ(なにわクラブ)と合同練習をし、子供たちに技術指導をしている。 外部の中学校に向けて書道研究会を開催している。(9回目) また、アイセルシュラホールにて卒業書道展を開催している。今後も地域に貢献できるものを検討し、根差したものにしていくことを考えている。 藤井寺郵便局の年賀状コンクールの企画を後援し、コンクールの活性化に役立てた。(今年度で2回目) 藤井寺駅構内で生徒会主導による熊本震災義援金活動を行った。
	(3) 設備・防災対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> 施設や設備環境の改善・改修 緊急支援物資の購入 	適宜購入	備蓄庫を点検し、用具なども充填した。生徒、教員だけでなく、非常時には地域援助にも役立てるように充実したものになった。

学校関係者評価 懇談会議事録

日 時：平成 29 年 10 月 13 日（金）10 時 00 分～12 時 00 分

場 所：事務棟小会議室

出席者：藤井寺区長会会長、春日丘区長、校長、教頭、事務局課長、事務職員

はじめに、校長より、本校の次年度募集について、一部のみ男女共学化とし、平成 31 年度募集については、全コースにおいて、共学化となる旨の説明がなされた。

引き続き、平成 28 年度の 1. 目指す学校像、2. 中期的目標について説明がなされ、自己評価アンケートの結果と分析、学校評価委員会からの意見、さらに具体的に中期的目標における重点目標に取り組んだ結果について、3. 取り組み内容及び自己評価に基づき、説明がなされた。

自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見について

<学習指導>

- ・自分のクラス、授業、学校行事、部活動に対する満足度は、肯定的意見が増えており、中でも、生徒の学校行事に対する満足度が、前年度より 5%アップしているのは、評価できると考えられます。授業に対する意欲について、2 年生の肯定的意見が少なく、原因とし、併設短大の閉学による短大コースの生徒が直接影響を受けたことによると考えられます。
- ・クラブ加入率について、3 学年中、1 年生の加入率が 43%と一番高くなっております。新しくラグビー部、サッカー部、また、バトントワリング部を発足しており、男子生徒入学後のクラブについても今後検討していく必要があると考えております。

<生徒指導>

- ・学校の雰囲気について、生徒、保護者共、約 9 割が肯定的意見であり、満足していただいていると考えられます。
- ・学校の規則の妥当性と遵守、生活指導の納得度について、保護者は、約 9 割が肯定的意見であり、概ね理解を得られていると考えております。
- ・生徒指導について、生徒の納得度は保護者に比べて高くはなく、生徒への一貫した指導を行っているが、不公平がないよう、指導方法について改善していかないと考えております。
- ・挨拶については、生徒の肯定的意見が 85%となっており、長年の挨拶運動の成果が表れていると考えられます。但し、まだまだ自ら進んで挨拶する生徒が少なく、今後も挨拶運度の取り組みを強化していきたいと考えております。

<進路指導>

- ・各種資格が取れることに対して肯定的意見が低く、生徒は、資格取得に不満を感じています。要因としては取得可能な資格が少ないというわけではなく、生徒への周知方

法の問題、説明が不足しているのではないかと考えられ、周知方法を改善する必要があると考えております。

<教員研究・研修>

- ・授業が分かりやすいかに対して、生徒、保護者共、肯定的意見が、昨年より5%アップしており、授業の内容や工夫に改善が見られると考えております。
- ・校内施設、整備について、生徒、保護者共、高い数値で満足されていますが、体育館の老朽化は否めません。改修については、大きな課題としています。

中期的目標における重点目標に取り組んだ結果について

<学習指導構想>

- ・基礎力診断テストでの学習到達ゾーンB以上の生徒は、9%であり、まだまだ評価指標としている20%以上には、達していません。基礎学力を底上げしていく必要があると考えております。
- ・自宅学習時間が1時間以上の生徒は全体で17%であり、昨年より3%減少しており、評価指標の40%にはほど遠く、少しずつ上げていくことが大事であると考えております。

<生活指導構想>

- ・校門指導と挨拶運動について、毎朝校門指導を行っており、すれ違った際に挨拶できるようになってきており、成果が上がっています。
- ・評価指標各クラスの年間遅刻回数100回以下について、13クラス中1クラスのみ達成となっており、一つの理由として、不登校生による遅刻があり、カウンセリングによるケアを行っております。指導を徹底する必要があると考えております。
- ・ポイント制による生活指導について、服装等の項目を設け、ポイント制を実践し、違反生徒は減少しております。しかし、それだけに頼るのではなく、言葉による指導を行うことも大事であると考えております。

<進路指導構想>

- ・4年制大学入学者数70名以上の評価指標について、例年、4年制大学への進学が3割、併設短大への進学が3割、その他短大、専門学校への進学3割、就職1割となっておりましたが、平成28年度は46.8%（65名）の生徒が4年制大学へ入学しております。これは併設短大の閉学が影響していると考えております。
- ・課外講座を活用した受験対策の実施における英検各級の合格率20%以上の評価指標について、3級、準2級は達成しておりますが、2級については、合格者が0人でありました。しかしながら10人の生徒が受験しており、チャレンジしていることについては、効果があったと考えております。
- ・勉強クラブ登録者数80名の評価指標について、勉強クラブは、放課後に自習できるよう環境を整えたクラブであり、登録者数は27名のみとなりましたが、クラブ員数として考えますと、決して、少ないとは考えておりません。また、自習の方法については、

教員の指導等、改善する必要があると考えております。

- ・コースの内容の充実について、併設短大の閉学により、短大コースの内容を他短大への進学の際に活用できる分野へ変更し、学習指導を行っております。

<教員研修構想>

- ・教員へ、外部研修への参加を積極的に実施していただくよう促しております。また、現在は本校の将来構想を優先としており、それに係る委員会を立ち上げ、委員会での議論を重ねることを学内教員研修会の一つとして考えております。
- ・系列3校合同研修会を実施しており、男女共学のシステム、生活指導のあり方、内規について等を分散会で情報交換を行い、情報共有し、学んでおります。

<その他の領域>

- ・学校評価アンケートについて、保護者、生徒に対して複数の項目を設けて、アンケートを実施し、外部者との外部評価懇談会を実施し、意見交換を行っております。
- ・地域との交流について、年1回、3月にサブカルチャー研究部が、自主的にプラレール試走会を実施し200組以上の子供たちが参加されております。陸上競技部は、近隣の子供クラブと合同練習し、子供たちに技術指導をしております。また、アイセルシュラホールにて、9回目となる卒業書道展を開催しております。
- ・藤井寺駅構内で生徒会主導による熊本震災義援金活動を行っております。
- ・藤井寺駅から本校までの通学路において、生徒会主導でゴミ拾い、クラブ員による清掃活動を行う取り組みを実施しております。
- ・平成31年度に向けてのクラブについて、男子生徒が入学するにあたり、クラブの整備及び地域に貢献できるクラブの検討を進めております。
- ・コース制の整備だけでなく、学校での生活、クラブ活動の充実を図り、更なる学校発展に向けての取り組みを強化していきたいと考えております。

出席者からの意見及び本校の回答

意見（区長）…アンケートの時期について教えてください。

回答（教頭）…1月に配付し、2月中旬までに回収しております。

意見（区長）…2年生の肯定的意見が一番低い点において、昨年の1年生においても低かったため、その学年の生徒が低いという理由が挙げられるのではないのでしょうか。

回答（校長）…評価内容について、再度検証いたします。

意見（区長）…挨拶について、一般的に思春期の年代は、難しい年代です。イヤホンをとって挨拶してくれる生徒もいます。また、こちらから挨拶しても返ってこない生徒もいます。一概に出来ていないという評価ではないと思います。

回答（教頭）…挨拶について、なかなか生徒から進んで行くことは難しいことですが、まず、学内においてこちらから挨拶をした際には、返すことから始め、段階的に取り組んでいきたいと考えております。

意見（区長会会長）…挨拶について、人として、挨拶をされた際には、やはり、返していただくことはしていただきたいと思います。

意見（区長会会長）…校内の設備について、他の施設が綺麗で立派であるなかで体育館だけが老朽化しているという印象を受けるのですが、改修計画はどのようなになっていますか。

回答（校長）…体育館は、地形の問題が影響しており、地下から水が湧き出してくる問題があり、改修計画が進んでいない状況となっております。

意見（区長会会長）…バレーボール部の成績等について教えていただきたい。

回答（校長）…今年6月の春季大会においては、4位の成績をおさめ、9月の総合体育大会においては、3位の成績をおさめております。現在始まっております春高バレーについては、10月29日にベスト4が決定し、11月4日にベスト4のトーナメント戦となり、出場を目指して練習に励んでおります。

意見（区長会会長）…家庭学習の低下について、貴校だけではないと思います。貴校においては、勉強クラブがあり、学校で勉強できる環境が整備されていることが良いと思います。しかし、長時間の勤務による教員の負担が多くなることを危惧いたします。

意見（区長会会長）…校名変更について、浸透度合いについてはいかがですか。

回答（校長）…まだまだ、旧校名の認知度までには、届いておりません。

意見（区長会会長）…藤井寺の市民として、学習都市として、良い環境の中で教育ができる学校として、これからの発展を期待しております。

意見（区長）…現在の生徒数を教えてください。

回答（教頭）…1年生が91名、2年生が125名、3年生が135人、合計351人です。

意見（区長）…卒業生の人数及び、進路先について教えてください。

回答（教頭）…卒業生は、141名です。

進路先については、4年制大学進学者が約46%、短期大学進学者が約28%、専門学校進学者が約18%、就職者は約8%となっており、4年制大学が最も多くなっております。

意見（区長）…生徒指導の頭髪違反については、違反者が増えているのですか。また、どういった指導をされているのですか。

回答（教頭）…長期休み明けに頭髪指導を行い、改善した場合は、遵守とみなしております。頭髪違反となるのは、本来の髪の毛を染めることが違反となります。

意見（区長）…勉強クラブの登録者数が27名というのは、昨年度（45名）に比べて激減していると思われませんが、なぜこのような結果になっているのですか。

回答（教頭）…教員側の勉強クラブへの薦め方に差があったり、定期考査の成績が良いと、登録者が伸び悩んだりという要因があります。

意見（区長）…勉強クラブの評価指標について、生徒数に変動するのであれば、登録者数とするのではなく、比率に変更する方が、成果率、達成率の推移の正確性が測れるのではないのでしょうか。

回答（教頭）…今後においても、男子生徒が入学するにあたり、生徒数の変動を考慮し、比率の指標が良いと思います。

意見（区長）…いじめについて教えてください。

回答（教頭）…いじめアンケートについて、毎学期実施しております。9月の結果においては、3件報告があり、クラス担任において、内容を把握できております。学年で情報共有し、また、不登校委員会へ情報を提出しております。

意見（区長）…いじめアンケートの回収方法について教えてください。

回答（教頭）…クラス担任が回収を行います。

意見（区長）…いじめの有無について、アンケート回収の際に教員側で操作されることはないでしょうか。

回答（教頭）…問題点等については、アンケートのみならず、個々の教員、学年会議や委員会を通じて情報が入ります。よって、そのようなことはないと思います。また、インターネット、SNSでのいじめについての有無を把握するため、アンケートの質問項目を追加し、些細な情報を得られるようにしております。

意見（区長）…資格取得に不満を感じている生徒が多い理由として、生徒が望む資格が取得できるように取り入れられることも大事ではないでしょうか。

回答（教頭）…学校が教育上、必要と考えられる資格、検定については、学校側から受験を促しております。ただし、生徒が望む資格の把握、生徒への周知方法を検討する必要があると考えます。

意見（区長会会長）…文理ハイレベルコースは、こういった生徒を育てられるのでしょうか。

回答（校長）…高い偏差値を持った生徒を募集しているわけではありません。もともと本校に入学してくる生徒の偏差値レベルから判断して、難関私立大学、地方の国公立を目指せる生徒を育てることを考えております。

2017.10.14

大阪緑涼高等学校

校内評価委員会

学校関係者評価を受けて

○興味を示された点、課題として示された点

①アンケート結果の数値

- 「2年生（現3年生）のみが殆どの設問で他学年と比べて肯定的な評価の割合が低いというのは、短大の学生募集停止の影響が一要因ではないかと推測いたしましたが、前回のアンケート（当時1年生）も同様の傾向だった」ので、「次回のアンケート結果も参考に分析したい」と回答致しました。
- 「各種資格が取れる」という肯定的意見が少ないということであるが、「資格取得を目指す生徒数を増やす取り組みとして、取得したい資格のアンケート調査など工夫してみてはどうですか」という意見をいただきました。

②家庭学習、進路選択

- 「家庭学習の定着というのは難しいものだと孫を見ていると感じるところが多い。」という感想をいただきました。「家庭学習が滞る一つの要因としては、『わからない時に近くに質問できる人がおらず、この時点で学習継続をあきらめてしまう。』ということが考えられる。」「勉強クラブへの加入も勧めるとともに、次年度から開設する文理ハイレベルコースでは生徒が校内で多くの勉強ができる環境を整え、家庭でも勉強を続けられるようにしたい」と回答致しました。
- 「上級生になるほど家庭学習時間が減るといのは、受験勉強をする生徒が少ないということですか。」という質問をいただき、本校の近年の進路決定状況（指定校推薦への依存度が高い）を説明いたしました。
- 「短大の募集停止に伴う進路選択の変化はどうですか。」という質問をいただき、近年の短大への内部推薦の人数や4年制大学進学割合の増加があったことを説明いたしました。

③通学マナー

- 「大阪緑涼高校の生徒さんが歩きながらスマホ操作している姿を殆ど見たことがない。交通安全の見守り当番で交差点に立っているとき、挨拶される生徒さんがいるのは大変うれしい。」というお褒めの言葉をいただきました。

④生活指導

- 「生徒が髪の毛を染めているというのは、地域住民としては悪い印象を持つというのは当然の感情です。大阪緑涼高校は指導が行き届いた学校であってほしいと願うので、髪指導は継続して頑張ってください。」という励ましの言葉をいただきました。
- 「遅刻数の年間目標数値が3000回以下」について、年間2600回に減少しました。ただ、「遅刻の理由は様々だと思うが、クラスの目標数値達成に対して、達成でき

ていないクラスが多いことは懸念材料だと思いますので、頭髪指導と同様に継続して頑張ってください。」という意見をいただきました。

⑤いじめ問題

○「いじめアンケートをされているということですが、クラス担任が黙認しているということはありませんか。」という質問をいただきました。「クラス内の状況、とりわけ学校を休みがちな生徒、保健室によく来室する生徒の情報は各学年や委員会で報告され共有していますので、黙認するということはありません。」と回答致しました。

⑥共学化、新コース

- 「短期大学の閉学は誠に残念ですが、高校に調理師や製菓衛生師の資格が取れる新コースが出来たり、男子生徒が入学したりといったことでどのように学校が変わり、発展していくのか楽しみにしています。」という励ましの言葉をいただきました。
- 「文理ハイレベルコースはどういう指導をされるのですか。」という質問をいただき現在、検討している構想内容を説明いたしました。
- 「共学化することに在校生や保護者の方は理解されていますか。」という質問をいただきました。共学化の告知と理解をどのように進めてきたかを説明いたしました。

⑦設備面

○人工芝コートの新設や調理製菓科、文理ハイレベルコースでは短大棟の施設、設備の利用をすることなど説明をいたしました。男子生徒の受け入れに伴う改修計画を質問され、現状の問題点と改修の進捗状況などを説明いたしました。

⑧クラブ活動

○新規クラブの起ち上げを含め、男子生徒の受け入れの見通しを含めた近況を説明いたしました。「バレーボール部は勿論、様々なクラブの活躍が7号館に張り出されることは地域への広報という点でわかりやすい。各クラブが良い成績を上げてくれることは地元住民として楽しみです。率直に言うとクラブ活動が充実している学校が良い学校だと思うので、各クラブの発展に期待しています。」という意見をいただきました。

⑨防犯や地域での苦情の件

- 最近の登下校時に出没した不審者について、教員の立ち番指導を9月末まで実施したことを報告いたしました。「取り組まれていたことは知っていました。これからも防犯や交通安全については学校にも協力していただきたい。」という意見をいただきました。
- 送迎に伴う周辺での車の駐停車について、「立ち番などの取り組みで協力いただけているのは有り難いことですが、校舎の貸館時には台数が増えるので対策強化には引き続きお願いしたい」という意見をいただきました。

⑩その他

○「転換期で学年ごとの生徒の人数に差があるというのであれば項目の内容にもよるが、

数値目標は百分率で設定した方が良いではありませんか。」という意見をいただきました。

○「地域に開かれた学校として、是非、地域貢献を頑張っって良い生徒を育ててほしい。」という期待を込めての意見をいただきました。

○「大阪緑涼高等学校、大阪女子短期大学の敷地はかつて教材園であり、今はなき藤井寺球場も含めて、スポーツ及び文教地区として町が発展してきました。その文教面でのシンボルとして、大阪緑涼高等学校が今後とも存在価値を発揮することを地域として大いに期待しています。」という意見をいただきました。

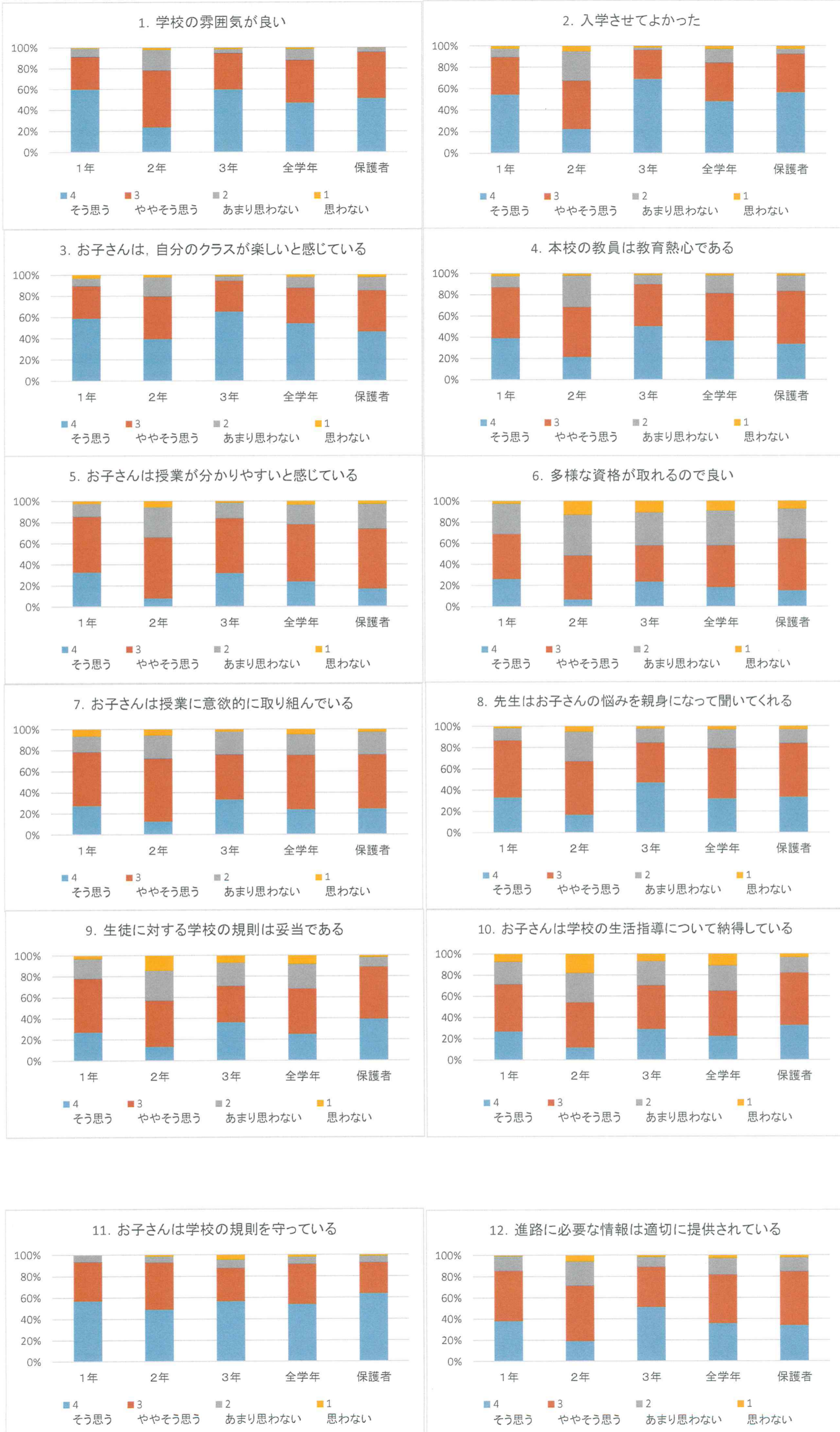
○今回の評価から、会長、区長さんから「良い生徒さんが増えたこと、良い学校になっていることを感じていますので、地域の皆さんも親身になって応援しています」というお言葉を頂戴し、心から応援していただいていることに感謝いたしました。学業面だけでなく人としての基本である「挨拶や身だしなみ」、「人との応接態度」などを十分に身に付けさせ社会で活躍、貢献できる生徒を一人でも多く育てていくことが「大阪緑涼高等学校のあるべき姿」として地域に浸透し、信頼を得られるものと感じました。これからも教職員、生徒が地域構成の一員であることを十分に理解し、地域の方々に快く受け入れていただけるように努力を重ねていかなければならないと感じました。

※会長、区長さんが、心から藤井寺、春日丘の環境や文化を大切にされていること
また、本校を見守っていただいていることに感謝しています。

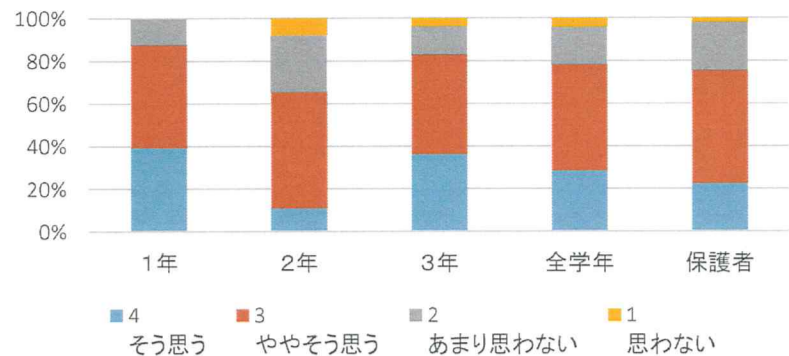
平成28年度 学校評価アンケート集計(設問は、保護者向けのものを使用しています)

設問	学年	4	3	2	1	-	+
		そう思う	ややそう 思う	あまり思 わない	思わない		
1 学校の雰囲気が良い	1年	59.7%	31.5%	8.1%	0.8%	8.9%	91.1%
	2年	23.5%	54.4%	19.9%	2.2%	22.1%	77.9%
	3年	59.7%	34.9%	3.9%	1.6%	5.4%	94.6%
	全学年	47.0%	40.6%	10.8%	1.5%	12.3%	87.7%
	保護者	51.2%	44.2%	4.1%	0.4%	4.5%	95.5%
2 入学させてよかった	1年	54.5%	35.0%	8.1%	2.4%	10.6%	89.4%
	2年	22.2%	45.2%	27.4%	5.2%	32.6%	67.4%
	3年	69.0%	27.1%	2.3%	1.6%	3.9%	96.1%
	全学年	48.1%	35.9%	12.9%	3.1%	16.0%	84.0%
	保護者	56.6%	35.7%	4.9%	2.9%	7.8%	92.2%
3 お子さんは、自分のクラスが楽しいと感じている	1年	58.9%	30.6%	7.3%	3.2%	10.5%	89.5%
	2年	39.4%	40.1%	18.2%	2.2%	20.4%	79.6%
	3年	65.1%	29.5%	3.9%	1.6%	5.4%	94.6%
	全学年	54.1%	33.6%	10.0%	2.3%	12.3%	87.7%
	保護者	46.3%	38.9%	12.3%	2.5%	14.8%	85.2%
4 本校の教員は教育熱心である	1年	39.0%	48.0%	10.6%	2.4%	13.0%	87.0%
	2年	21.3%	47.1%	29.4%	2.2%	31.6%	68.4%
	3年	50.4%	39.5%	8.5%	1.6%	10.1%	89.9%
	全学年	36.6%	44.8%	16.5%	2.1%	18.6%	81.4%
	保護者	33.6%	49.8%	14.5%	2.1%	16.6%	83.4%
5 お子さんは授業が分かりやすいと感じている	1年	32.5%	52.8%	12.2%	2.4%	14.6%	85.4%
	2年	8.0%	57.7%	28.5%	5.8%	34.3%	65.7%
	3年	31.8%	51.9%	14.7%	1.6%	16.3%	83.7%
	全学年	23.7%	54.2%	18.8%	3.3%	22.1%	77.9%
	保護者	16.9%	56.8%	23.5%	2.9%	26.3%	73.7%
6 多様な資格が取れるので良い	1年	26.1%	42.9%	28.6%	2.5%	31.1%	68.9%
	2年	6.6%	41.6%	38.7%	13.1%	51.8%	48.2%
	3年	23.4%	34.4%	31.3%	10.9%	42.2%	57.8%
	全学年	18.2%	39.6%	33.1%	9.1%	42.2%	57.8%
	保護者	15.0%	49.2%	28.3%	7.5%	35.8%	64.2%
7 お子さんは授業に意欲的に取り組んでいる	1年	27.4%	50.8%	15.3%	6.5%	21.8%	78.2%
	2年	12.4%	59.9%	21.9%	5.8%	27.7%	72.3%
	3年	33.3%	42.6%	21.7%	2.3%	24.0%	76.0%
	全学年	24.1%	51.3%	19.7%	4.9%	24.6%	75.4%
	保護者	24.6%	51.2%	21.3%	2.9%	24.2%	75.8%
8 先生はお子さんの悩みを親身になって聞いてくれる	1年	33.1%	53.7%	11.6%	1.7%	13.2%	86.8%
	2年	16.8%	50.4%	27.7%	5.1%	32.8%	67.2%
	3年	46.9%	37.5%	13.3%	2.3%	15.6%	84.4%
	全学年	31.9%	47.2%	17.9%	3.1%	21.0%	79.0%
	保護者	33.5%	50.4%	13.2%	2.9%	16.1%	83.9%
9 生徒に対する学校の規則は妥当である	1年	26.8%	51.2%	18.7%	3.3%	22.0%	78.0%
	2年	13.1%	43.8%	28.5%	14.6%	43.1%	56.9%
	3年	36.2%	34.6%	22.0%	7.1%	29.1%	70.9%
	全学年	25.1%	43.2%	23.3%	8.5%	31.8%	68.2%
	保護者	39.3%	49.6%	9.0%	2.0%	11.1%	88.9%
10 お子さんは学校の生活指導について納得している	1年	26.8%	44.7%	21.1%	7.3%	28.5%	71.5%
	2年	11.7%	42.3%	27.7%	18.2%	46.0%	54.0%
	3年	28.9%	41.4%	22.7%	7.0%	29.7%	70.3%
	全学年	22.2%	42.8%	24.0%	11.1%	35.1%	64.9%
	保護者	32.7%	49.5%	14.5%	3.3%	17.8%	82.2%
11 お子さんは学校の規則を守っている	1年	56.9%	36.6%	6.5%	0.0%	6.5%	93.5%
	2年	48.9%	43.8%	5.8%	1.5%	7.3%	92.7%
	3年	56.6%	31.0%	7.8%	4.7%	12.4%	87.6%
	全学年	54.0%	37.3%	6.7%	2.1%	8.7%	91.3%
	保護者	63.7%	29.0%	6.1%	1.2%	7.3%	92.7%
12 進路に必要な情報は適切に提供されている	1年	37.9%	47.6%	13.7%	0.8%	14.5%	85.5%
	2年	19.0%	52.6%	22.6%	5.8%	28.5%	71.5%
	3年	51.2%	38.0%	9.3%	1.6%	10.9%	89.1%
	全学年	35.6%	46.2%	15.4%	2.8%	18.2%	81.8%
	保護者	33.9%	50.8%	13.2%	2.1%	15.3%	84.7%
13 授業・模擬試験が進路に対応している	1年	39.3%	48.4%	12.3%	0.0%	12.3%	87.7%
	2年	11.0%	54.4%	26.5%	8.1%	34.6%	65.4%
	3年	36.4%	46.5%	13.2%	3.9%	17.1%	82.9%
	全学年	28.4%	49.9%	17.6%	4.1%	21.7%	78.3%
	保護者	22.6%	53.0%	22.2%	2.1%	24.4%	75.6%
14 学校行事は楽しく充実している	1年	46.0%	39.5%	10.5%	4.0%	14.5%	85.5%
	2年	27.7%	48.2%	18.2%	5.8%	24.1%	75.9%
	3年	57.4%	38.0%	3.9%	0.8%	4.7%	95.3%
	全学年	43.3%	42.1%	11.0%	3.6%	14.6%	85.4%
	保護者	42.6%	43.9%	11.9%	1.6%	13.5%	86.5%
15 部活動は活発で充実している	1年	37.8%	37.8%	12.6%	11.8%	24.4%	75.6%
	2年	27.8%	40.6%	19.5%	12.0%	31.6%	68.4%
	3年	52.8%	28.0%	11.2%	8.0%	19.2%	80.8%
	全学年	39.3%	35.5%	14.6%	10.6%	25.2%	74.8%
	保護者	33.9%	40.0%	20.9%	5.2%	26.1%	73.9%
16 校内の施設・設備はよく整備されている	1年	51.6%	36.3%	10.5%	1.6%	12.1%	87.9%
	2年	22.6%	49.6%	21.2%	6.6%	27.7%	72.3%
	3年	51.9%	37.2%	10.9%	0.0%	10.9%	89.1%
	全学年	41.5%	41.3%	14.4%	2.8%	17.2%	82.8%
	保護者	43.8%	51.7%	3.3%	1.2%	4.5%	95.5%
17 挨拶のあふれる学校である	1年	44.4%	37.9%	16.9%	0.8%	17.7%	82.3%
	2年	35.0%	52.6%	10.2%	2.2%	12.4%	87.6%
	3年	45.0%	41.1%	8.5%	5.4%	14.0%	86.0%
	全学年	41.3%	44.1%	11.8%	2.8%	14.6%	85.4%
	保護者	36.0%	47.7%	13.8%	2.5%	16.3%	83.7%

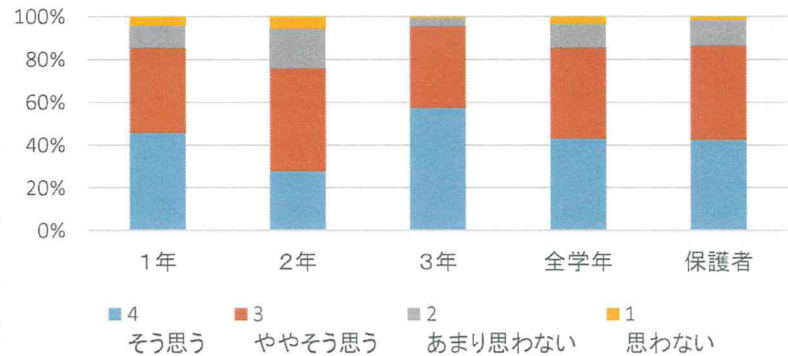
平成28年度 学校評価アンケート 比較グラフ



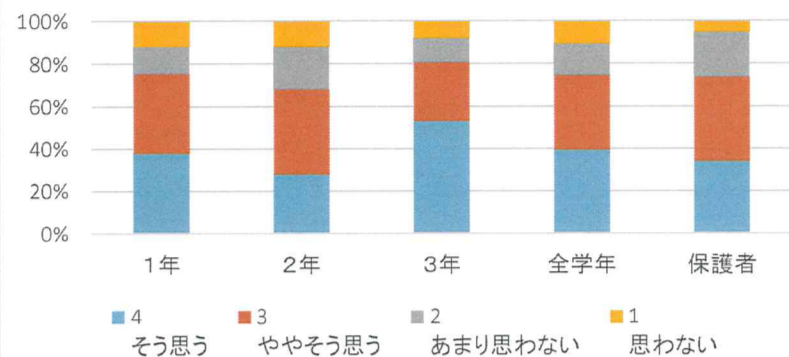
13. 授業・模擬試験が進路に対応している



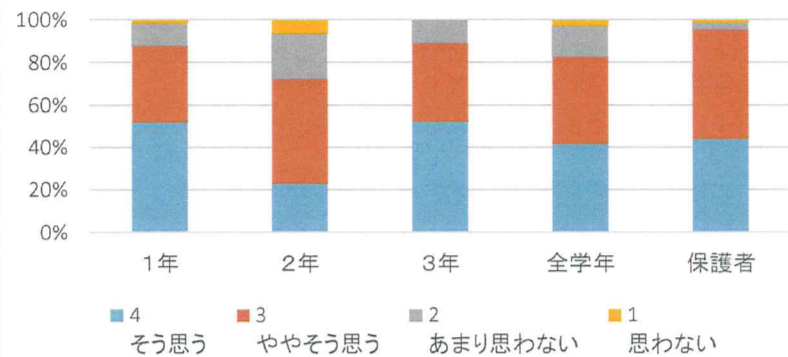
14. 学校行事は楽しく充実している



15. 部活動は活発で充実している



16. 校内の施設・設備はよく整備されている



17. 挨拶のあふれる学校である

